

# 2005 年度 事業活動報告

2005 年度日本ハビタット協会は、国連ハビタットが行う戦争や災害で打撃を受けたまちの復興再建事業「紛争後のまちづくり再建事業」を全面的に支援してまいりました。

2005 年 10 月 8 日にパキスタン北部で発生し、7 万人を超える犠牲者を出したパキスタン大地震への緊急支援として日本全国のかたがたからの募金を受けシェルタープロジェクトを実施したほか、カンボジア、タンザニアの女性や女児のためのプロジェクトも実施いたしました。

また、2005 年 3 月 25 日から 9 月 25 日に愛知県で開催された「愛・地球博」に参加、スマトラ沖地震・インド洋大津波の再建復興事業やアフガニスタンにおける国連ハビタットの活動について広報しました。広報活動の中でも特に力を注いだのは、福岡県・福岡市を中心として日本中に支援の輪が広がり、多くの方々から募金を寄せて頂いたことで実現したスリランカにおける「ふくおか村」プロジェクトのことで、被災者の方々の入居がすすんでいる様子を中心に広報いたしました。

また、2005 年 10 月には仙台で展示会、福岡市の「地球市民どんたく 2005」で展示会を開催、2006 年 2 月にはゆきまつりの札幌でチャリティコンサートを開催するなど支援の輪が全国的に広がっています。

## 1. 協力支援事業

### (1) パキスタン大地震緊急募金

2005 年 10 月 8 日にパキスタン北部で発生したパキスタン大地震は 7 万 3 千人が犠牲となり、約 350 万人が被災しました。

被災地は道路が分断され、救援物資を届けることも困難な状態でした。厳しい冬の時期を迎え肺炎などの二次災害も発生する中、日本ハビタット協会では 2005 年 11 月 29 日から 12 月 31 日の 1 ヶ月間緊急募金実施しました。短い期間でしたが日本全国から 9,146,868 円の募金をお寄せいただき、パキスタン北西辺境州パラスバレーに 160 戸の越冬シェルターを建設しております。

### (2) カンボジアの女性のための支援プロジェクト

国際ソロプチミスト大宰府クラブから 10 周年記念事業の一環として、「カンボジアの女性・高齢者支援寄付金」を頂戴し、プノンペン府のセンソク・コミュニティにおいて、特に夫を亡くした女性 83 名（高齢者含）を対象に支援プロジェクトを実施しました。

受益者との話し合いのもと、新しいミシン 24 台を購入して縫製作業センターを建設しての縫製事業と女性の高齢者を対象とした小口融資事業の 2 事業を実施。

センターでの縫製作業や小口融資事業での食料品や雑貨の販売業などが開始したことで、女性の雇用機会の創出や高齢者の生活環境の改善、女性の社会進出などを実現しています。

(3) タンザニアの子どもたちの支援プロジェクト

タンザニアの Luguruni にある Joha Girls Secondary School の子どもたちの支援を始めました。この学校は孤児の女の子のための学校です。親を亡くし、教育を受けることができない子どもたちの支援のために 2005 年 12 月 19 日に 5,000 ドル（日本円 587000 円）を送金しました。

子どもの学費や寮における食費、生活費等に使用されます。

(4) 国連ハビタット福岡事務所支援

2006 年 3 月、福岡県国際交流センターを通じ、国連ハビタットの活動経費として 700,000 円を拠出しました。

(5) ハビタットカレンダー 2006

国連ハビタットの実施する「いのちの水プロジェクト」の募金のため、ハビタットカレンダー 2006 の配布を通して募金活動を行いました。このカレンダーは世界ハビタットデー2005 を記念して開催した絵画コンクール「みんなでつくる災害に強い“まち”」の応募作品で構成されています。

カレンダー作製数：3,000 部

カレンダー募金総額：2,160,000 円（2,051 部）

(6) ハビタットオリジナルTシャツ

国連ハビタットの実施する事業への募金のためにTシャツを作成、配布を通して募金活動を行いました。

Tシャツ作成数：2,000 枚

Tシャツ募金額：1,364,000 円

(7) 紛争後のまちづくり募金事業

大型、小型の募金箱を製作し、大型募金箱は成田空港、福岡空港、アクロス福岡をはじめとする 12 箇所に、小型募金箱も病院、個人商店などに約 15,000 個設置させていただいております。

2005 年度の募金総額は 4,806,951 円です。小型募金箱の回収には課題が残っていますが、昨年同様に課題であった外貨コインについてはボランティアデーでの作業で課題が少しずつ解消されています。

## 2. 広報・宣伝活動

### (1) 愛・地球博

2005年3月25日から9月25日までの6ヶ月間、愛知県で開催された「愛・地球博」に参加しました。

万博史上初めて市民が参加した瀬戸会場の市民パビリオンで「貧困層の生活環境改善プロジェクト」と題して、国連ハビタットが実施するスリランカでのスマトラ沖地震の復興支援事業（ふくおか村）とアフガニスタンでの紛争後のまちづくり事業についての展示を実施しました。

常設展示のみならず、会期中に以下の4イベントも同会場で実施しました。

- ◆4月11日～17日「地球の授業」：映像を交え、ハビタットの活動について来場者に説明。  
30分間の授業を1日3回
- ◆6月6日 「チャリティコンサート」：会場内のホールでアンデス音楽のチャリティコンサート開催。
- ◆7月1日～7日「言の葉さらさら 七夕まつり」：七夕にちなんで会場内でイベントを実施。
- ◆9月2日 トーク「イラク・スリランカの明日」：国連ハビタット親善大使と国連ハビタットイラク担当官との、国連ハビタットのイラク、スリランカにおける事業についての対談。

### (2) チャリティライブ&トークショー「人の幸せをささえるまちづくりは今」

2006年2月11日(土)北海道厚生年金会館においてチャリティコンサートを開催しました。

第1部では高橋はるみ北海道知事をお招きし、人々が安心して暮らせるまち、活気のあるまちについてのトーク。第2部は地元北海道の歌手神山慶子さんによるライブショーを開催しました。

この事業は北海道新聞社、北海道文化放送、北海道厚生年金会館との共催で開催、ロータリークラブ、北海道国際航空株式会社、株式会社あおぞら銀行の協賛を得て実施されました。

総入場者数：820名

- ◆収益金はカンボジアにおける「いのちの水プロジェクト」に活用されます。

### (3) 展示会

国連ハビタットの活動に関する展示会を以下の日程、会場で実施しました。

- ◆ 地球市民どんたく（福岡市）：10月15日～16日
- ◆ 国連ハビタットリポート「Live Together いっしょに生きよう」（仙台市）：10月26日～27日

(4) ニュースレター「まちづくり通信」

今年度は「まちづくり通信」vol. 9を20,000部、vol. 10を20,000部発行しました。発行部数は昨年度より大幅に増えています。会員に郵送する他、愛・地球博会場ほか、展示会、コンサート等のイベント会場での配布、マリ・クリスティーヌ親善大使の職務上の講演会等でも配布されました。

(5) イラク通信

国連ハビタットが実施するイラクでの事業を広報するために、「イラク通信 vol3」を発行しました。

発行部数：10,000部

(6) ホームページ

年間を通じてホームページ事業には力をいれました。事業の状況に沿って細かく書き換えを実施し、活動内容が全てわかるようになっております。

ホームページを見ての問い合わせも増えており、カレンダーの申し込み等もホームページが活用されています。

(7) リーフレット・チラシ類

①作成数

特定非営利活動法人 日本ハビタット協会リーフレット(20,000部 )  
会員募集用チラシ(10,000部)

②配布数

特定非営利活動法人 日本ハビタット協会リーフレット (18,000部)  
国連ハビタット福岡事務所リーフレット (20,000部)  
スマトラ沖西方沖大地震・インド洋津波の復興 (5,000部)  
子ども用リーフレット (1,500部)  
書籍販売用チラシ (5,000部) カレンダー募金用チラシ (5,000部)  
会員募集用チラシ (3,000部)

※愛・地球博、チャリティコンサートなど、イベント開催が多かったため、どの配布物も、配布数は昨年度に較べ大幅に伸びました。

### 3. 組織活動

(1) 会員 (2005年4月1日～2006年3月31日)

個人会員：95人

法人会員：4団体

ボランティア登録者：30人

個人会員数は前年度比5名増、法人会員は昨年度より3団体減です。

個人、法人とも継続会員の増加と新規会員の獲得が今後の大きな課題です。

(2) ボランティアデー

募金のコイン整理、ニュースレターの発送などのためにボランティアデーが25回開催されました。

開催場所：ふくおか会館

参加ボランティア数：のべ136名

ボランティアデーの参加者は大幅に増えています。(約181パーセント増)

ボランティアデー参加者の増加に伴い、外貨コインの分別がすすみました。

(3) ハピタットフレンズ

ボランティア登録者の他にも、チャリティーコンサートや愛・地球博への参加に伴い、仙台や名古屋、福岡においてハピタットの活動をサポートして下さるボランティアグループが結成されました。特にハピタットフレンズ仙台は2005年10月26日～17日に展示会を開催、募金や広報などにも積極的に取り組んでいます。

### 4. 事務局体制

東京事務所は2005年4月～7月までは3名、職員の退職に伴い8月～2006年3月までは2名で、福岡支部は1名の常勤スタッフで運営されました。

職員数が少ないため、職員一人にかかる仕事量が増えているのが現状です。しかし、人件費を増やさないようにするために、当面は常勤職員3名での運営を考えています。

## 5. その他の事業

昨年度発行の報告書「国連ハピタットがすすめる女性にやさしいまちづくり」を販売いたしました。

書籍は販売数が伸びず、制作費が販売額を上回る結果となりました。2005年度も引き続き販売を続けます。

販売数及び販売額 書籍 販売総額：275,381円

## 展示・イベント等実施状況

### 2005年

3月25日～9月25日	日本万国博覧会「愛・地球博」	愛知県
6月30日	日本ハピタット協会第三回理事会・総会	霞山会館
7月27日～8月2日	イラク・スリランカの人々の明日 パネル写真展	アクロス福岡
9月2日	災害を乗り越えて～イラク・スリランカの人々の明日	愛知県・万博会場
9月5日～9日	アジアマンス・イベント	福岡市役所
9月27日～10月2日	世界ハピタットデー記念絵画コンクール	九州エネルギー館
10月1日～2日	グローバルフェスタ2005	日比谷公園
10月3日	世界ハピタットデー2005	アクロス福岡
10月15日、16日	地球市民どんたく2005	福岡市
10月24日	国連デー記念シンポジウム	国連大学
10月26・27日	国連ハピタットリポート（ハピタットフレンズ仙台）	仙台市
10月28日	国際理解学習（嶋ヶ谷市立里中学校）	東京
10月29・30日	国際協力フェスタ	横浜市
11月13日	ねんりんピック	福岡市
11月25日	絵画コンクール表彰式 in 佐賀・長崎	佐賀・長崎

### 2006年

2月4日～5日	ワンワールドフェスティバル	大阪市
2月11日	チャリティトーク&ライブ「人の幸せをささえるまちづくりは今」	札幌市
3月8日	2006年国連女性デー	国連大学
3月19日	キャリアフォーラム in 福岡	アクロス福岡
毎週第①・③火曜日	ボランティアデー	東京

## 監査報告書

特定非営利活動法人  
日本ハピタット協会  
会長 伊藤滋 殿

2005年6月9日

監事

本田俊雄



私は2005年6月9日、特定非営利活動法人日本ハピタット協会の、ここに掲げられている、2004年4月1日から2005年3月31日までの2004年度の業務の執行状況及び下記の計算書類において監査を行いました。

### 記

1. 監査日時 2005年6月9日
2. 監査場所 法律事務所 あすか
3. 監査立会人 山本博子事務局長、長島若菜
4. 監査方法
  - イ. 非営利事業会計の貸借対照表、収支計算書および財産目録の点検及び照合
  - ロ. 収益事業会計の貸借対照表、収支計算書および財産目録の点検及び照合
  - ハ. 各種伝票及び補助簿の点検及び照合
  - ニ. 2004年度事業年度活動点検

監査の結果、上記の計算書類は、特定非営利活動法人 日本ハピタット協会の2004年4月1日から2005年3月31日現在の財産の状況及び、同日をもって終了する事業年度の収支の状況を、正しく示しているものと認めます。

以上

# 2005年度 収益事業報告

(2005年4月1日～2006年3月31日)

科目	予算額	決算額	備考
<b>I 収入の部</b>			
1. 物品販売事業			
	558,000	437,500	Tシャツ販売
2. 報告書販売			
	3,796,500	275,381	「女性にやさしいまちづくり」販売
3. 雑収入			
	0	0	
当期収入合計(A)	4,354,500	712,881	
前期繰越収支差額	0	0	
収入合計(B)	4,354,500	712,881	
<b>II 支出の部</b>			
1. 物品販売事業			
人件費	100,000	89,000	発送にかかる人件費
送料	30,000	9,540	
消耗品費	30,000	14,815	
2. 書籍販売事業			
広報費	0	65,310	チラシ
仕入れ	0	0	
人件費	100,000	100,000	販売にかかる人件費
送料	50,000	16,725	
消耗品費	30,000	0	
手数料	0	1,450	
3. 寄付金			
	62,000	400,000	福岡県国際交流センター
4. 予備費	0	0	
5. 租税公課		70,000	
当期支出合計(C)	402,000	766,840	
当期収支差額(A)－(C)	3,952,500	△ 53,959	
次期繰越収支差額(B)－(C)	3,952,500	△ 53,959	
次期繰越金	3,952,500	△ 53,959	

(単位:円)